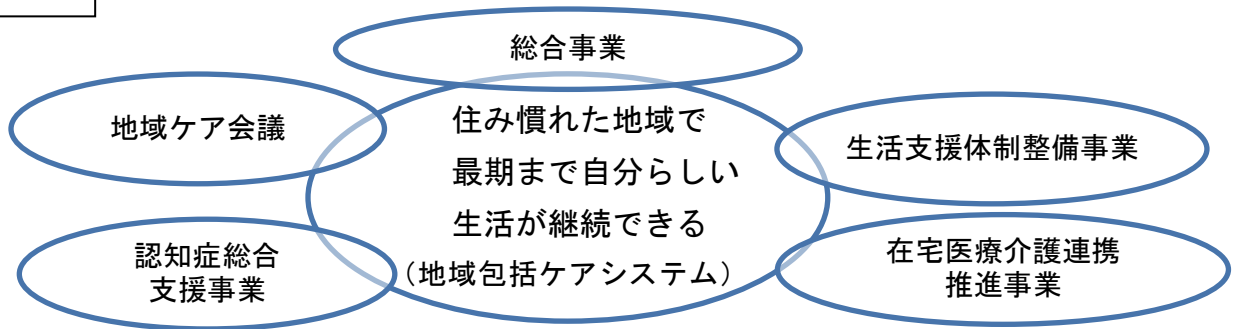


# 地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について

## 1. 地域包括ケアシステム構築へ向けた事業概要について

	事業名	内容
1	介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）	要支援者へ町独自の多様なサービスを提供、介護予防の推進、高齢者の社会参加・支え合い体制づくり等。
2	在宅医療・介護連携推進事業	医療と介護の支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療及び ACP の普及、在宅医療と介護を一体的に提供するための支援体制を構築する。
3	生活支援体制整備事業	独居や高齢者のみ世帯、認知症高齢者等の抱える多様な生活支援ニーズに対し、必要な生活支援サービスの充実・強化を実施。
4	認知症総合支援事業	認知症の早期発見・早期治療支援、介護者支援、認知症の方を支える地域づくりなどの認知症施策の推進。
5	地域ケア会議推進事業	個別ケースについて多職種で検討を行い、個別課題の解決を図るとともに、地域課題を抽出し地域づくり、施策形成、多職種ネットワークの構築を実施。

関連図



## 2. 地域包括ケアシステム構築に向けた各事業の進捗状況について

### (1) 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の重点事業

	事業名	目的	令和3年度実績	令和4年度予定
介護予防対策	健康長寿大学 (健康長寿推進事業)	高齢者が要介護状態を予防する多様な方法を社会的に学ぶ場を提供。参加者同士が卒業後もお互いに予防活動を行えるようにする。	10月～2月の期間で計14回コースで実施。前期高齢者18名が参加。運動・栄養・社会参加・ICTをテーマに講義受講及び運動実践を実施。卒業後は、住民主体サロンとして運動のサロンを継続。	継続 (11月から第3期を開催)

	フレイル予防事業	75歳以上に簡易のフレイルアンケートを実施し、結果を送付することで、フレイルへの意識づけ、早期介入を行う。	要介護認定者を除く後期高齢者、計1,349人に対してフレイルアンケートを送付。返信数:875人、返信率:64.9% 返信者には、フレイル判定報告書、フレイル予防のパンフレットを送付。	継続 (5月にアンケート送付)
	事業名	目的	令和3年度実績	令和4年度予定
	ウォーキングマップ作成 (町制50周年記念事業)	ウォーキングマップをきっかけに運動習慣の定着、外出促進を図る。	文化財や名所などを巡り地域の魅力に触れながら健康づくりができるウォーキングマップを住民と共に検討し作成した。 3月広報と同時に全戸配布	ウォーキングイベント開催
総合事業	住民主体サロン 活動支援事業	高齢者が介護予防活動や仲間づくりのために自主的に行うサロンの継続支援を行う。	・活動団体：13団体 ・サロン開催回数(延)：173回 ・サロン参加者数(延)：2,368人	継続
	介護支援 ボランティア事業	高齢者がボランティア活動を通じて、社会参加をする。	・登録者：20人 ・ポイント交換者：14人	ポストカード作成ボランティア

## 課題

- ・前期高齢者から健康づくりや介護予防に対する意識を持ち実践できる環境づくり
- ・フレイル予防を普及し、介護状態、重症化することの防止。
- ・高齢者が地域や社会で活躍し、地域とのつながりを持ち続けられるよう高齢者の生きがいをづくりや社会参加の推進

## (2) 在宅医療・介護連携推進事業

項目	内容	令和3年度実績	令和4年度予定
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	豊山町地域包括ケアシステム推進協議会の開催	年2回開催 (2回ともコロナ感染拡大防止のため書面開催)	年2回
在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会及びワーキング会議への出席	協議会：1回(書面開催) ワーキング会議：1回 (オンライン開催)	検討中
医療・介護関係者の情報共有の支援	豊山レインボーネット(電子@連絡帳)をインターネット上で運用	患者登録数 9人	継続
在宅医療・介護関係者の研修	尾張中部医療圏在宅医療・介護連携研修会	1回 (オンライン形式で実施)	検討中

	豊山町多職種連携研修会・ケアマネ研修会	2回 (対面形式とオンライン形式)	年1回開催
	豊山町ケアマネ会支援	4回	ケアマネ会4回
地域住民への普及啓発	在宅医療推進講演会	コロナ感染拡大防止対策のため未実施	検討中

## 課題

- ・医療と介護関係者の情報共有ツール（電子@連絡帳）の連携を強化する。
- ・住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送るために、一人ひとりがどのように生活を送りたいかを考えることができるようにACPや在宅医療サービス等の情報を普及。

### (3) 生活支援体制整備事業

事業	内容	令和3年度実績	令和4年度予定
協議体の開催	地域の高齢者支援に携わる方との情報共有及び連携・協働による取組を推進する	・協議体3回 ・参加者35人	第2層協議体の設置
コーディネーター活動	地域の資源開発、関係機関とのネットワーク構築、ニーズと取組のマッチングを実施	地域での集いの場の検討	コーディネーター業務を社会福祉協議会へ委託

## 課題

- ・高齢者の多様な生活支援ニーズに対し、地域資源やニーズを把握し、課題解決に向けて、地域の支え合いによる新たなサービスや地域の集いの場の構築が必要。
- ・生活支援コーディネーター、協議体の活動の支援をおこない、地域での主体的活動を推進。

### (4) 認知症総合支援事業

事業	内容	令和3年度実績	令和4年度予定
認知症初期集中支援チームの設置	認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する（済衆館病院へ委託）。	・対象者6人 (支援終了者5人) ・チーム員会議8回 ・訪問件数11回	継続
おかえりネット（認知症徘徊高齢者等SOSネットワーク事業）	認知症などで高齢者等が行方不明となった場合に備えて、あらかじめ町にその方の情報を登録しておくことで、早期発見につなげます。事前登録した方は、町が加入する、認知症高齢者等個人賠償責任保険の加入ができます。	・事前登録者 10人 ・保険加入者 10人	継続
認知症サポーター養成講座	認知症の方やその家族が安心して生活できる地域づくりのため、認知症を正しく理解し、できる限りの支援ができるサポーターを養成する。	・8回 ・養成者数 161人 (住民、企業、町職員)	継続

わんわん パトロール隊	地域の見守り体制及び徘徊高齢者等への支援体制の構築を目的に、犬を飼育する住民を対象に認知症サポーター養成講座を実施し、その犬をわんわんパトロール隊として登録をする。	・飼い主 10人 ・20匹	継続
----------------	------------------------------------------------------------------------------------	------------------	----

## 課題

- ・認知症に関する正しい知識・理解の普及啓発をおこない、早期診断、早期対応ができる支援体制の構築。
- ・認知症高齢者の介護を家族が抱え込まないように、認知症高齢者とその家族への支援の充実。
- ・認知症サポーター養成と認知症サポーターと連携した地域の見守り体制の構築
- ・認知症になっても地域で安心した生活を送ることができるように、徘徊のおそれがある人の事前登録を促進し、おかえりネットや認知症サポーターの協力を基にした見守り等の協力体制の構築。

## (5) 地域ケア会議（地域ケア個別会議）

内容	令和3年度実績	令和4年度予定
個別ケースについて多職種（各専門職団体にアドバイザーの出席を依頼）で検討を行い、個別課題の解決を図るとともに、多職種のネットワーク構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握をする。	6回（集合形式開催2回、レインボーネットを利用したオンライン開催4回）	継続

## 課題

- ・自立支援・重症化予防を図るため多職種連携によるケアマネジメント支援。
- ・地域課題を抽出するために、検討ケース数を増やしていく。
- ・地域ケア会議から把握できた課題の解決のために、施策へと展開できるよう検討をすすめる場が必要。

## (6) その他

### ①見守り対策

事業	内容	令和3年度実績	令和4年度予定
高齢者安心ネットワーク事業	以下の対象者のうち、希望する者に対して、①緊急時に備え緊急連絡先の情報などを町に登録する。②同意を得られた方に関して、民生委員等と情報共有し、見守りを実施する。	登録者数：109人	随時登録申請を受付

## 課題

- ・登録内容の更新、変更。
- ・地域での見守り体制の充実。

## ②権利擁護

事業	内容	令和3年度実績	令和4年度予定
成年後見制度利用促進事業	制度利用が必要な方への成年後見制度の利用促進、利用支援時の相談対応、円滑な利用、権利擁護ネットワークの構築を目的に成年後見センターを設置し、社会福祉協議会へ委託。	相談件数：19件 法律相談会、講演会等実施	継続

### 課題

- ・相談件数がまだまだ少ないため、成年後見センターの普及啓発。
- ・成年後見制度の理解を促し、必要な人が制度を利用できるように、説明会や研修会を開催する。
- ・関係機関とのネットワークの構築